

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度12月補正予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

### 事業名 新 県立学校 ICT 環境整備充実事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 ICT教育推進室 情報基盤係

電話番号：058-272-1111 (内 3564)

E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 387,249 千円 (現計予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担 金 負担 金	使用 料 手数料 料	財 産 収 入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	387,249	0	0	0	0	0	0	0	387,249
決 定 額	387,249	387,249	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・新学習指導要領に掲げる「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、令和元年度に全県立学校の普通教室を中心に ICT 環境を整備した。また、令和2年度には1人1台タブレット端末の整備を行い、コロナ禍におけるオンライン学習支援や、個別最適な学びと協働的な学びの両立を目指した授業を展開している。
- ・さらに新しい価値を創造する力を育む教育の充実のため、探究的な学びや実験・実習などの学びにおいても ICT 活用の必要性は急速に高まっており、県立学校の特別教室等に ICT 環境の拡充整備が不可欠である。

## (2) 事業内容

- ・ 探究的な学びや実験・実習などの学びにおいて、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、新しい価値を創造する力を育む教育を充実させるため、特別教室等に I C T 環境（電子黒板機能付きプロジェクタ、ホワイトボード、無線 L A N）を拡充整備する。

## (3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10/10

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	69,660	プロジェクタ本体、無線アクセスポイント本体
委託料	317,589	ホワイトボード張替、プロジェクタ及び無線アクセスポイント等の設置
合計	387,249	

### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン  
基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり  
(26) I C T の環境整備と利活用の推進

### (2) 後年度の財政負担

- ・ 単年度事業

### (3) 事業主体及びその妥当性

- ・ 新学習指導要領に、情報活用能力（情報技術を手段として活用する力を含む）の育成については、言語能力等と並び、教科等を越えた全ての学習の基盤として生まれ活用される資質・能力として明記されている。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のためには、各教科・科目等の特質に応じた体験活動を重視することが併せて明記されている。

- ・本事業は、こういった資質・能力を育む学習活動を支援するための拡充整備であり、県負担が妥当である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 探究的な学びや実験・実習などの学びにおいて、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、新しい価値を創造する力を育む教育を充実させるため、特別教室等にICT環境を拡充整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
	① 指導者がタブレットを調査期間内で1時間(コマ)以上使用した割合	21.5% (R2.2)	51.9% (R3.2)	70%	75%	
② 生徒がタブレットを調査期間内で1時間(コマ)以上使用した割合	7.5% (R2.2)	20.9% (R3.2)	70%	75%	80%	26%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	教育環境が劇的に変化していく中で、先進的なICT環境を活かし、改訂された学習指導要領の趣旨を実現するために、特別教室等のICT環境の拡充整備の必要性は高まっている
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	ICT推進指導主事等が定期的に学校訪問をし、優れた活用事例を紹介するなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現のためのICT活用について支援している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 探究的な学びや実験・実習などの学びの場における「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践事例を蓄積し、学校間・教員間で共有する必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 単年度事業。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】